

移住・定住ガイドブック

AKITA 移住サポート BOOK



暮らしを
楽しむ

秋田



心地よく、 ずっと暮らせるまち 秋田。

豊かな自然、あたたかな人々、そして心地よい暮らし。

秋田には、日々の生活にゆとりと彩りを与えてくれる魅力があります。

都会の喧騒を離れ、自分らしい時間を取り戻したい——。

そんな想いに応えてくれる場所、それが秋田です。

あなたの理想の暮らし、秋田で見つけてみませんか？

子育て施設も
充実



夏はやっぱり
大曲の花火



自然の中で
子どもと過ごす



男鹿水族館で
子どもの水族館デビュー！



ミルハスで
音楽鑑賞



自然とふれあいながら
のんびり休日を過ごす



Contents

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 3 目次 | 44 就農したい人集まれ！ |
| 4 データで見る！
あきた暮らしの魅力 | 45 林業・漁業もサポート |
| 6 知っておきたい！雪国秋田
冬の暮らしガイド | 46 地域おこし協力隊になる
関係人口としてつながる |
| 8 移住者インタビュー | 47 移住前にできること |
| 14 秋田県 25 市町村 GUIDE
〈主な支援制度〉 | 48 相談窓口へ行く |
| 40 全国トップクラスの子育て支援 | 49 イベントに参加する |
| 42 学力全国トップクラスの秘密 | 50 移住でよくある質問 |
| 43 秋田で働く
事業サポート（起業・事業承継） | 51 秋田県エリアマップ |
| | 52 アクセスマップ |

データで見る！ あきた暮らしの魅力

秋田の暮らしは、四季の恵み、伝統文化、子育て支援の充実など
地方ならではの魅力が満載。穏やかで豊かな日常について新しいカタチを探してみませんか？

HOUSE

住まい



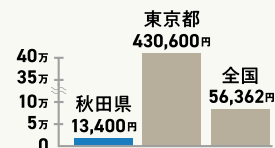
持ち家住宅率

全国
1位

宅地の平均価格が全国で一番安く、全国平均の3割以下。持ち家の住宅率に比べて1人あたりの住居の広さも全国1位です。広い庭や駐車場を持つこともできます。

〔1㎡当たりの宅地平均価格〕

出典：国土交通省
「都道府県地価調査」
(令和6年)



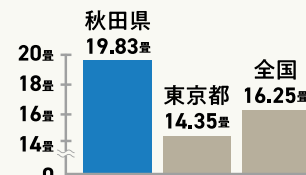
持ち家の住居の広さ

全国
1位

家の中でしっかりと個人のスペースが確保できます。のびのびと過ごせる環境が整えば、悪天候時のうち時間も快適です。

〔世帯の1人当たり住居の畳数〕

出典：総務省統計局
「住宅・土地統計調査」
(令和5年)



EDUCATION

教育

子育て家庭への経済的な

支援は全国トップレベル

子育て環境の良さも魅力のひとつです。秋田県の待機児童率は0.01%、第2子以降は保育料・副食費が全額無償になります。



出典：こども家庭庁調べ(令和6年)

毎年全国でトップクラス

公立小学校	公立小学校	公立中学校
算数 5位	国語 1位	国語 3位

※すべて「平均正答率」

先生の目が行き届きやすい教育環境や「探究型授業」の導入、家庭学習の習慣化などにより、毎年全国でトップクラスの成績を収めています。

出典：文部科学省「全国学力・学習状況調査」(令和6年度)

LIVING

暮らし

通勤・通学時間

朝の満員電車や渋滞もほぼなく、余裕を持って通勤・通学ができます。冬は積雪の影響で少し混雑しますが、ほとんどの人はその分早起きして調整しています。

秋田県

60分

東京都

95分

出典：総務省統計局
「社会生活基本調査からわかる47都道府県ランキング」(令和3年)

治安の良い県

全国
1位

刑法犯認知件数の少なさ第2位、刑法犯遭遇率の低さ第1位で、安心安全に暮らせる環境が整っています。



出典：HOMEALSOK 研究所
「全国治安ランキング2023」

INDUSTRY & CULTURE

産業・伝統文化

食料自給率

全国
2位

秋田県の食料自給率(カロリーベース)は約196%で、北海道に次いで全国2位と非常に高い水準です。地元の旬の食材がスーパーマーケットや産地直売所に並んでいます。



出典：農林水産省
「都道府県別食料自給率」(令和4年度)

重要無形民俗文化財の件数

全国
1位

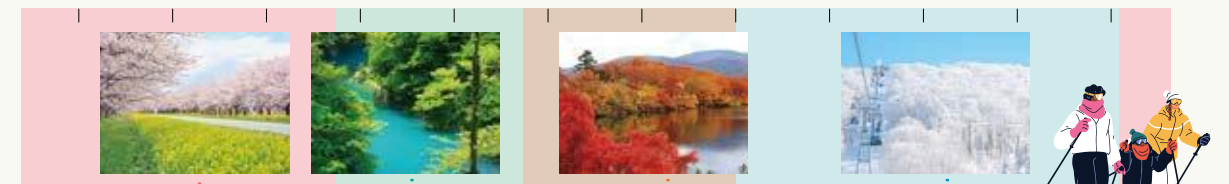
全国的に有名な「男鹿のナマハゲ」や「竿燈まつり」以外にも「刈野の大綱引き」「六郷のカマクラ」など各地域に多くの国指定重要無形民俗文化財があります。文化や歴史を実際に見て体験して学べる環境があります。

出典：文化庁
「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」

SEASONS

四季

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



春

4月に入ると県内でも開花情報が聞こえてきます。(桜の開花：4月中旬頃)

夏

8月から夏本番。各地で夏祭りが開催され、お盆を過ぎると朝晩涼しくなることも。(梅雨明け：7月下旬頃)

秋

10月下旬ごろから、標高の高い順に見頃になります。(紅葉見頃：11月中旬頃まで)

冬

11月を過ぎるといつ雪が降ってもおかしくありません。曇天や雨天が増え、次第に雪になります。(初雪：11月中旬～下旬頃)



知っておきたい！雪国秋田 *Winter Living* 冬の暮らしガイド *Guide*

県内でも積雪量は大きく変わります！

おそらく多くの人が気になるのが「積雪量」ですね。秋田県は典型的な日本海型気候。冬は季節風が強く、降雪量が多くなりますが、エリアによって積雪量は全く異なります。

〔雪の積雪量〕

■ 少ない ■ ふつう ■ 多い

〔車の埋もれ具合〕

朝の除雪
最大
1時間



〔山沿い〕 藤里町・北秋田市など

樹氷で有名な森吉山や白神山の麓など、山沿いは積雪が多い県南盆地よりも気温が低くなります。

積雪目安：北秋田市 約1m30cm

朝の除雪
最大
30分



〔沿岸部〕 男鹿市・秋田市など

潮風の影響で積雪量は少ないですが、凍結や吹雪になることも。

積雪目安：秋田市 約30cm

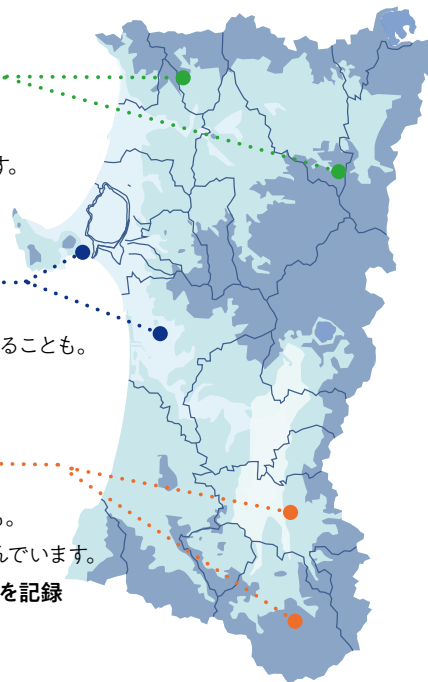
朝の除雪
最大
2時間



〔県南盆地〕 横手市・湯沢市など

豪雪地帯で時には1階が埋まるほどの積雪になることも。その分、雪を流す「流雪溝」などのインフラ整備が進んでいます。

積雪目安：県内でも多い積雪。令和3年には2m超えを記録



コレはマスト！

雪対策必須アイテム



スノーブーツ、長ぐつ

雪かき用に長靴が1足あると便利です。積雪量が少ない地域は、足首くらいのハイカットブーツで対応できることもあります。



コート

歩いて外出するときは、撥水加工のアウトドアアイテムが便利です。子どもはジャンプスーツを着ることが多いです。



スコップ

1つは欲しいスコップ。数千円で購入できます。種類が多数あるのでホームセンターで用途にあわせて相談しましょう！



冬タイヤ

11月～3月の間は冬用のタイヤを装着しましょう。カー用品店やガソリンスタンドでは、タイヤ交換などを行ってくれる場所もあります。

*いずれも秋ごろになればホームセンターやショッピングモールなどで手軽に手に入ります！

知っておこう雪の生活

雪道運転

路肩の雪で道幅も狭くなりいつも以上に安全運転が必須です。車間距離は普段の2倍、ブレーキは数回に分けて踏みます。(市町村主催の雪道講習があることも！)

冬場は
通勤時間が増えます。

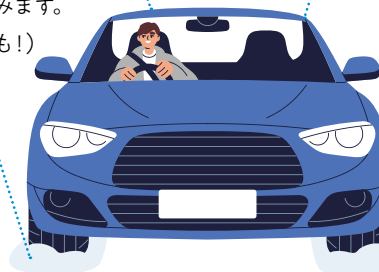
夏季で30分かかる場合

冬季は45分～1時間

スタック*

スタックしたらみんなで助け合い！寒くても、人との繋がりはあったかいんです。

*雪にタイヤがはまり空回りすること



雪道運転は夏よりも速度がゆっくり。雪かきの時間確保に加えて、子どもに着せるものが多くて時間がかかる場合もあるので、冬場は早起きです。

朝はみんな雪かき

朝や除雪車が通った後は皆が雪かき。ご近所さんとも自然に会話し、顔が見える生活ができます。

冬の暖房費は覚悟を決めて

エアコンではなく、灯油ストーブを使う人も多いです。足元から暖まり、停電などの災害時にも役立ちます。

冬は室内干し

布団を外で干すことはできないので、布団乾燥機があるとベスト！

凍結防止の水抜き作業

外気で水道管の水が凍らないように、水抜き作業をします。入居時に不動産業者に確認しておきましょう。



動画でチェック！秋田の冬の暮らし

VR動画は
こちら



秋田の日常をVRで 疑似体験できる360度ムービー

県内でも比較的雪の少ない秋田市と、雪の多い地域にある横手市の冬の様子を360度ムービーで体験しながら、雪国の暮らしを身近に感じることができます。VRゴーグルをもっていない方でも、アキタコアベースに行けば体験できますよ(要事前相談)。除雪事情など冬の暮らしの気になる部分や、冬ならではの美しい景色・レジャーなど、秋田の冬の魅力もお届けします♪



Interview 01



勤め先のオフィスでの様子。PC作業の他にも、打ち合わせや取引先への訪問など、アクティブに業務に取り組んでいます。

北海道→

秋田市へ移住

#Uターン #地域の魅力発信

Profile

小玉 伸伍さん

仕事：会社員
秋田在住歴：6年

転勤がつながた秋田との縁 秋田で描く新しいキャリア

宮崎県出身の小玉さんは、当時の勤務先での転勤を機に平成31年に北海道から秋田市へ移住しました。秋田で出会った奥様の希望で、結婚後も住み続けることに。

小玉さんが秋田暮らしで特に魅力を感じるのは、自然が身近にあること。「採れたての山菜を近所の人と分け合っていて味わたり、少し車を走らせて自然に触れ合ったりできるところが日々の息抜きになっています」と話します。

秋田への定住を機に秋田市のデザイン会社に転職し、地域の魅力を企画やデザインを通じて発信する仕事に携わっています。「地域のモノの魅力を伝え方を考え、それをカタチにして、たくさんの方に手に取ってもらえた時に、

やりがいを感じています。仕事は忙しいですが、勤務先はフレックス制度を取り入れているので、家族との時間も確保できるところが魅力です。子育て世代にとっても働きやすい環境が整っていると思います」。

移住を考えている人に対して、小玉さんは「秋田には仕事がないというイメージがあるかもしれませんが、さまざまな業種の仕事があります。人手不足の職場も多く、働く環境は整っていると思います」と力強く語ります。



Q&A 移住者に質問！

Q 大変だったことはありますか？

秋田に転勤してきた時は営業の仕事をしていましたが、秋田弁が理解できず苦労しました。

Q 県内のお気に入りスポットはどこですか？

道の駅にある産地直売所です。秋田の新鮮な食材を見つけて家族で食べるのが楽しみです。

Q 休日は何をしていますか？

子どもと広々とした公園で遊んだり、男鹿の海沿いを散策したりと、自然を満喫しています。

Interview 02

秋田で育む 私らしいキャリアと子育て

万田さんは令和6年3月、夫の転職を機に、埼玉県から生まれ故郷の秋田市へとUターンしました。ご夫婦ともに秋田出身ということもあり、秋田ノーザンハピネッツやブラウブリッツ秋田の首都圏アウェイの試合観戦を通じて、地元への応援の気持ちが芽生えたと言います。

万田さんは、東京に本社がある洋菓子メーカーに勤務していますが、都内から埼玉へ引越した際にリモートワークへと働き方をシフトしました。秋田に戻ってからも、オンライン販売の受発注や顧客対応の業務に従事しています。

移住前に、「アキタコアベース」に相談に行ったところ、

移住支援金やリモートワーク支援金など、さまざまな情報を得たそう。移住に興味がある人に、訪れてみることを勧めています。

令和6年8月からは産休・育休を取得中ですが、実家に住む両親のサポートを受けながら出産準備を進められたのは大きなメリットだったそうです。「子育て支援も充実していて、初めての育児でも安心です」と話します。

故郷の秋田でリモートワークという働き方で子育てに励む万田さん。「仕事以外にも、スポーツ観戦などを通して地域との繋がりを持つことで、新たな秋田の魅力が見えてくるはず」と、移住を考える人々にエールを送りました。



休日はブラウブリッツ秋田などのスポーツ観戦や大森山動物園に家族で出掛けているそう。

Q&A 移住者に質問！

Q 秋田での子育てで良いと感じる場所は？

安くて新鮮な地元産の魚や野菜が手に入るので、子どもにも安心して食べさせられると感じています。

Q 秋田での生活で大変なところはありますか？

公共交通機関のダイヤが少ないと感じているので、ペーパードライバーですが運転できるように練習していきます。

Q 秋田でどんな生活をしていきたいですか？

仕事に復帰してからも、季節の移ろいを感じながら、家族でのびのびと暮らしていけることを楽しみにしています。

Interview 03

「面白いことは地方にある」 男鹿で見つけた新しい毎日

東京で生まれ育った荒木さんは、地方のまちづくりに関心を抱き、移住先を探していました。そんな中、男鹿市で醸造やまちづくり事業を展開する稲とアガベ株式会社の岡住修兵社長と出会い、地域資源を活かした取り組みに共感。男鹿への移住を決意しました。現在、荒木さんは宿泊事業の立ち上げをはじめ、人事・広報、教育コンテンツや地域のお祭りの企画など、多岐にわたる業務にまい進しています。

荒木さんは生活面でも充実を感じていて、「道の駅では新鮮な魚や野菜が手に入り、四季折々の恵みを感じる

ことで、自炊にも力が入るようになりました」と語ります。また男鹿への移住を機に、車も運転するようになりました。「道も広くて走りやすいです」と快適さを感じているといいます。

移住にあたっては、移住支援金も活用。「引越し費用や生活準備に使えて、とてもありがたかったです」と振り返ります。

「ジオパークやなまはげ行事などの独自の自然文化コンテンツが魅力」と語る荒木さん。「地方のまちづくりのロールモデルを作っていきたい」と意気込んでいます。



東京都→

男鹿市

へ移住

#1ターン #まちづくり

Profile

荒木 珠里亜さん

仕事：会社員

秋田在住歴：1年



お気に入りスポットは「入道崎」。
「夕日の美しさは、みんなに見て
もらいたい景色です」。

Interview 04



森吉山に樹氷観賞へ。「地元の
美しい景色を子どもたちに見せて
あげられたのがよかったです」。

埼玉県→

北秋田市

へ移住

#Uターン #自然と暮らす

Profile

大川 泰輔さん

仕事：会社員

秋田在住歴：7年

子育てを機に選んだ 家族とののびやかな暮らし

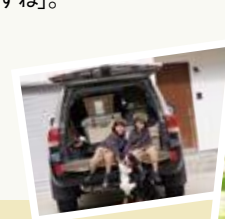
大川さんは北秋田市で生まれ育ち、札幌の大学を卒業後、全国に店舗を展開する企業に就職し、埼玉県で仕事中心の日々を送っていました。転機が訪れたのは平成29年。双子の男の子が誕生したことでした。我が子を抱きしめながら、頭に浮かんだのは故郷・秋田の風景。移住という選択肢が、ごく自然に心に浮かび上がりました。

勤務先に秋田への異動を願い出たところ、会社は大川さんの思いを後押し。慣れ親しんだ仕事を変えることなく、故郷へ戻る道が拓けました。

秋田に移住して、生活は大きく変わりました。「海も、山も、湖も全部近い。秋田なら『天気いいから、行っちゃう?』っ

て、30分後にはもう自然の中にいるんです」。友人たちと一緒にキャンプをしたり、アウトドアアクティビティをしたりして自然を満喫しているそうです。

渋滞がなく、どこへ行くにも車でスイスイ。人混みのストレスとは無縁の毎日。そんな秋田暮らしに、最初は不安を感じていた埼玉出身の奥様も、今では「人が少なく最高!もう埼玉には戻れないね」と笑います。「今のこの暮らしを、このまま続けていければ、それが一番の幸せですね」。



Q&A

移住者に質問!

Q

奥様は移住に賛成してくれましたか?

秋田に行くならついて行くと言っていましたが、最初は内心は不安があったようです。

Q

お金の使い方は変わりましたか?

移住前は飲みに行くことが多かったですが、移住後は趣味や子どもとの遊びに使うことが増えました。

Q

お気に入りのスポットはありますか?

広大な敷地を誇る北欧の杜公園や、サップも楽しめる田沢湖によく出かけています。

Q&A

移住者に質問!

Q

地域の人との関係性はどうですか?

道行く人と挨拶を交わしたり、馴染みの店ができたりと、人との距離の近さが安心感につながっています。

Q

休日はどんなふうに過ごしていますか?

職場の人と遊びに行ったり、東京の実家に気軽に帰ってリフレッシュしたりすることもあります。

Q

困ったことはありましたか?

初めてのタイヤ交換。ご近所の車屋さんが一から丁寧に教えてくれて、無事購入できました。

Interview 05



同じ模様でも色の選び方で違う印象になる。「それぞれに個性があってどれも素敵」と栗木さん。

神奈川県→

由利本荘市へ移住

Uターン # 地域の工芸品

Profile

栗木 彩さん

仕事：アルバイト
秋田在住歴：1年

地元の工芸品を通じてできた 由利本荘での新しいつながり

福岡県出身の栗木さんは、交際相手と暮らすために令和6年6月、神奈川県から由利本荘市に移住しました。それまで東北には縁がなく、初めて暮らす地域で知り合いもほとんどいなかったそうです。

もともと手芸が好きだった栗木さんが出会ったのが、由利本荘市の工芸品「本荘ごてんまり」。地域とのつながりを求めて、偶然知ったごてんまりの作り手からなる団体のワークショップに参加。小さなごてんまりをひと針ずつ丁寧にかがって小物やアクセサリに仕上げていく時間は、想像以上に集中できて、心が満たされるひとときだったといいます。

団体は地元の方が多く参加していて、作業の合間には地域の風習や暮らしの知恵など、あたたかい会話が交わされました。「知らない地域で不安もありましたが、ごてんまりを通じて自然に会話が生まれ、地域のことを教えてもらえる心強さがありました」。

今では団体のメンバーの一員となって、ごてんまりづくりを楽しむ一方で、由利本荘の魅力を外に伝えていける一員になれたらという気持ちも芽生えてきたそうです。地域の手仕事が、人と人をやさしくつなぎ、暮らしに彩りを添えてくれる。秋田には、そんなあたたかい出会いが待っていました。



Q&A 移住者に質問！

Q 冬の生活はどうでしたか？

雪と共に生活するのが初めてで、雪寄せが大変でしたが、春が来た時の喜びは格別でした。

Q 秋田の好きなところはありますか？

夜が静かで星がきれいなところや雨上がりに姿を見せる鳥海山。美しい景色に、心が癒されます。

Q 買い物に不便はありませんか？

日常生活は問題ありません。足りないものはネットショッピングを活用しています。

Interview 06

Uターンで出会った理想の職場 故郷・秋田で医療を支える

高橋さんは、東成瀬村出身。令和6年9月、転職を機に東京都から秋田市へとUターンしました。「両親の近くに住みたい」という想いから、秋田市への移住を決めたという高橋さん。移住の準備で大きな支えとなったのが、Uターン経験者の高橋さんのお姉さんから紹介された「アキタコアベース」の存在です。暮らしの情報提供だけでなく、転職活動についてのアドバイスも受けることができたことがスムーズな移住につながり、「コアベースを使わない手はない。迷っている人は話だけでも聞いてほしい！」と熱く語ります。

秋田暮らし応援事業を活用し、生活に必要なものの購

入や引越し費用に充てることができたといいます。「独身の方や金銭面に不安がある方にも、移住を後押ししてくれるはずです」。

移住後は「秋田の医療を支えられる人になりたい」と、電子カルテシステムの提供やソフトウェア開発、ハードウェアの販売を行う秋田市の企業で営業の仕事をしています。現在の勤め先とも、コアベースがきっかけで繋がりを得たそう。「コアベースでの巡り合わせでいい職場、いい上司に出会えました。温かい雰囲気の中で、日々やりがいを感じながら楽しく仕事しています」と希望に満ちた様子で語りました。



求人内容について事前に問い合わせた際に應對してくれたのが現在の上司。「上司が信じてくれるから、成果を出せています」と誇らしげに語ります。

Q&A 移住者に質問！

Q Uターンしてよかったと思うことはなんですか？

地元の友人や繋がりのある人にすぐ会えることです。でもやはり、一番は両親が目届く範囲にいます。

Q 休日はどんな過ごし方をしていますか？

友人家族と一緒に遊ぶことが多いです。東京へ引越す前に通っていた、おいしいラーメン屋に行ったりもします。

Q 今後のキャリアプランについて聞かせてください！

地道に努力して、いずれは責任ある立場で仕事したいです。秋田の医療に少しでも貢献できるように頑張ります。

秋田県25市町村 GUIDE

各地域の支援制度を確認して、あなたにぴったりの移住先を見つけましょう。

〈主な支援制度〉

*各制度についての要件等、詳しくは県や市町村にお問い合わせください。

【秋田県】		現 地 案 内	体 験 移 住	働 き 方	住 ま い				子 育 て 支 援				支 援 情 報				
県北 県中央 県南		移住体験ツアー	体験住宅	リモートワーク フリーケーション支援	リモートワーク施設	住宅取得	リフォーム	家賃補助	空き家バンク	18歳までのこども医療費	中学校までの給食費	0〜2歳児向けの保育料	教育留学・保育園留学	奨学金	交通費・宿泊費等支援	移住費支援	東京圏からの移住支援金
秋田県				○	○	○	○							○		○	
県北	鹿角市	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	小坂町	○				○	○		○	○	○	○					○
	大館市	○	○		○	○	○		○	○		○		○	○		○
	北秋田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	上小阿仁村				○		○		○	○	○	○		○	○	○	○
	能代市	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	藤里町		○			○	○		○	○		○		○	○	○	○
	八峰町					○	○		○	○	○	○		○			○
	三種町					○	○		○	○	○	○		○			○
県中央	秋田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	男鹿市	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	潟上市					○	○	○		○	○	○		○	○	○	○
	五城目町				○				○	○	○	○	○	○			○
	八郎潟町					○	○		○	○	○	○		○		○	○
	井川町					○	○		○	○	○	○		○		○	○
	大潟村					○	○		○	○	○	○	○	○			○
	由利本荘市	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○
	にかほ市	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○		○
県南	仙北市	○	○		○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○
	大仙市	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	美郷町	○				○	○		○	○	○	○		○	○		○
	横手市		○		○		○		○	○		○		○	○	○	○
	湯沢市				○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	羽後町	○	○			○	○		○	○		○		○		○	○
	東成瀬村					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



[かづのし]

鹿角市

人が温かく、笑顔あふれる
まちで鹿角ライフを

北東北3県の中央にある鹿角市は、りんごや桃などの果樹栽培が盛んです。また、ユネスコ無形文化遺産「花輪祭の屋台行事（花輪ばやし）」や「大日堂舞楽」などの伝統芸能、八幡平・湯瀬・大湯に代表される温泉などが魅力です。

住んでる方に聞きました！

人の温かさが息づくまち

鹿角で育む暮らし

鹿角に親子で移住して約2年。鹿角のいいところは、1ターンでも子育てがしやすいこと。児童センターや児童クラブ等が整っているのはもちろん、困ったときは子どもを預かってくれる、心強い“お世話好きさん”がいっぱい。田舎での子育ての良さを実感しています。



鹿角市移住コンシェルジュ
日高 明衣さん



DATA

人口：26,787人
医療機関数：23施設
就学前施設数：10施設
夏の平均気温：21.0℃
冬の平均気温：-1.9℃
降雪量：264.8cm

移住者支援制度

■ 鹿角市ふるさとライフ引越し支援補助金

引越し費用の半額、最大9万円を補助します。

■ 鹿角市ふるさとライフ家賃等支援補助金

子育て世帯や若者・単身世帯が民間賃貸住宅へ入居した場合、初期費用・家賃の半額を補助します。（最長24か月分）

■ 鹿角市ふるさとライフ住宅改修支援補助金

宅地建物データバンク物件等を購入し、修繕や家財撤去等をした場合、最大100万円を補助します。

移住体験してみよう！

■ 仕事体験プログラム

「暮らすように滞在する」をテーマに、最長2週間、鹿角市内の事業所で働いてみることで、自分に合った仕事を見つけるプログラムです。



お問い合わせ先

鹿角市 政策企画課 鹿角ライフ促進班

連絡先：☎ 0186-30-1310

Email: k-life@city.kazuno.lg.jp

HP: <https://kazuno-gurashi.jp/>

公式サイト





[こさかまち]

小坂町

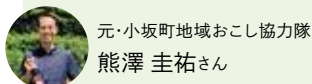
自然と歴史ロマン薫る コンパクトタウン「小坂」

町の中心部が直径約3キロメートルにすっぽり入り、医療機関（診療所・歯科）、教育施設（小・中学校・図書館・保育園）、商業施設（スーパー・コンビニ・薬局）、公園や運動場など生活に密接なものが一通りそろっています。

住んでる方に聞きました！

豊かな自然環境のもと のびのび暮らす

山ぶどうワインのおいしさに魅せられ、神奈川県より家族で移住。自然環境は申し分なく、通勤ストレスはゼロ！子どもたちは広い家でのびのびと過ごしています。現在は小坂七滝ワイナリーの社員として働いており、これから色々なことにチャレンジしたいと思っています。



元・小坂町地域おこし協力隊
熊澤 圭祐さん



DATA

人口：4,357人
医療機関数：3施設
就学前施設数：1施設
夏の平均気温：21.0℃
冬の平均気温：-1.9℃
降雪量：264.8cm



移住者支援制度

■ 移住定住促進奨励事業

小坂町で暮らす家建てたい、空き家を買いたい方を応援する事業です。諸条件を満たせば、新築は最大60万円、中古は最大80万円を補助します。

■ 町民「入場無料」

町民は各指定有料観光施設の入場料や特定日に限り「康楽館」での観劇料が無料です。

■ 家計に優しい子育て制度

18歳まで医療費無料のほか、在宅育児支援給付金（満3歳まで月額15,000円）、すこやか育児手当（小学校・中学校入学時と中学校卒業時に祝金50,000円）、また小中学校給食費や教材費の助成をしています。

移住体験してみよう！

■ 移住体験ツアー

秋田県外在住者で諸条件を満たせば、交通費や宿泊費1人あたり最大2万円、一世帯で5万円補助します。



お問い合わせ先

小坂町 総務課企画財政班

連絡先：☎ 0186-29-3907

Email: kikaku@town.kosaka.akita.jp

HP: <https://www.town.kosaka.akita.jp/>

公式サイト /



[おおだてし]

大館市

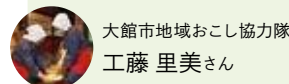
ちょうどいい田舎暮らし ハチ公のふるさと大館市

北東北3県の県庁所在地の中央に位置し、大館能代空港まで車で約30分、大館能代空港から羽田空港まで飛行機で約70分と意外と東京に近いです。商業施設など生活する上で必要なものが一通りそろい、ちょうどいい田舎暮らしが実現できます。

住んでる方に聞きました！

四季を感じ、趣味を楽しむ 大館での暮らし

四季折々の自然に囲まれた環境で、豊かな食文化に触れる機会が多く、新鮮な食材を自分で選び料理する喜びで生き方が変わりました。秋田犬にも癒されますし、温泉巡りも楽しめます。都会の喧騒から離れて、二拠点生活をしながら、自由な働き方を実現するのもオススメです。



大館市地域おこし協力隊
工藤 里美さん



DATA

人口：64,824人
医療機関数：63施設
就学前施設数：30施設
夏の平均気温：21.6℃
冬の平均気温：-1℃
降雪量：294.6cm



移住者支援制度

■ 定住奨励金

県外から転入した方が空き家バンクに登録された空き家を購入し、居住している場合、対象となる経費について最大30万円分の商品券を交付します。

■ 住宅リフォーム支援事業

市外から移住される方で居住する住宅をリフォームする場合は工事15%（上限40万円）、空き家バンクに登録された住宅をリフォームする場合は工事20%（上限50万円）を助成します。

移住体験してみよう！

■ お試し移住体験

1泊2日で「仕事・暮らし・子育て環境」について、希望に合わせたオーダーメイド型でご案内。大館市内までの交通費も半額助成します。（1世帯最大5万円まで）

お問い合わせ先

大館市 観光交流スポーツ部交流推進課

連絡先：☎ 0186-43-7149

Email: kouryu@city.odate.lg.jp

HP: <https://www.city.odate.lg.jp/kurashi/>

公式サイト /





〔きたあきたし〕

北秋田市

羽田空港から70分！
体験メニューが豊富です

大館能代空港がある北秋田市は、羽田空港から70分でアクセスできます。また、日本三大樹氷観賞地の1つである森吉山や阿仁のマタギ文化、世界文化遺産に登録された伊勢堂岱遺跡など、北秋田市ならではの魅力がたくさんあります。

住んでる方に聞きました！

北秋田市で描く 家族の未来

埼玉県から家族を連れて移住しました。自然の景色や食べ物など、豊かな環境も最高な北秋田市ですが、教育環境も素晴らしく、子どもたちの表情が劇的に変わりました。早寝早起きが習慣化し、自分から挨拶、そしてよく笑うようになりました。子どもの成長に喜びを感じています。



北秋田市地域おこし協力隊
佐藤 洋成さん



DATA

人口：27,473人
医療機関数：15施設
就学前施設数：10施設
夏の平均気温：23.1℃
冬の平均気温：-1.5℃
降雪量：348cm



移住者支援制度

■ 移住者住まい応援事業

引越し費用や普通自動車免許取得費用等の一部を最大20万円助成します。

■ 移住者住宅支援事業

市外から転入し、市内に住宅を新築、または購入した方に対して、最大130万円補助します。

■ きたあきた出産まると応援事業

妊婦健診等でのタクシー利用の費用補助、通院費かかり増し支援、きょうだい預かり支援など、安心して子どもを産み育てられる支援をします。

移住体験してみよう！

■ お試し移住体験

「くらし・しごと・まなび」に関するメニューを豊富に取りそろえています。さらに体験に要した費用のうち、1世帯あたり5万円まで補助します。



■ 移住体験住宅

1人1セット分の寝具のクリーニング代をお支払いいただくことで滞在が可能です。

お問い合わせ先

北秋田市 産業部 産業政策課 移住・定住支援室

公式サイト /



連絡先： ☎ 0186-62-8002

Email： iju@city.kitaakita.akita.jp

HP： https://iju-kitaakita.jp/

〔かみこあにむら〕

上小阿仁村

自然の中で暮らす私たちは
森を大切に育てています

先人が守り育てた森林の恵みにより、上小阿仁村の産業や文化は受け継がれてきました。令和5年8月には秋田杉で建てられた温もりある新園舎が完成し、園児たちがのびのびと過ごしています。森林と共に生きる、豊かな暮らしを体験してみませんか。

住んでる方に聞きました！

自然×学び×運動がそろって 充実した暮らし

自然豊かな山あいの村です。トレーニングセンター、テニスコート、スキー場などのスポーツ施設や、生涯学習センター、図書館などの文化施設があります。どの施設も利用料が無料のため、スポーツ活動や文化活動に力を入れたい方には大変おすすめです。



上小阿仁村PRキャラクター
こあびょん



DATA

人口：1,822人
医療機関数：1施設
就学前施設数：1施設
夏の平均気温：21.7℃
冬の平均気温：-0.5℃
降雪量：361.2cm



移住者支援制度

■ 移住定住奨励金（1人10万円、16歳未満30万円）

上小阿仁村に転入する方に移住定住奨励金を交付します。

■ 子宝祝金制度（第1子15万円、第2子以降60万円）

出産を祝福し、祝金を贈呈しています。第3子以降は、一時金の他に6歳の誕生日の前月まで、月1万5千円を贈呈します。

■ 住宅リフォーム事業（最大60万円）

増改築、リフォーム工事をする方を対象に助成します。

■ 小中学生入学準備助成金

小学校入学時に3万円、中学校入学時に5万円を準備金として交付します。

令和5年8月に完成した
かみこあに保育園の様子



お問い合わせ先

上小阿仁村 総務課企画班

公式サイト /



連絡先： ☎ 0186-77-2221

Email： kikaku@vill.kamikoani.lg.jp

HP： https://www.vill.kamikoani.akita.jp/



[のしろし]

能代市

はじまりの風が吹くまち。
能代で、暮らしを始めよう

能代市は、日本で初めて大規模な商業運転を開始した洋上風力発電の先進地。令和4年から稼働を始め、再生可能エネルギーを活かした新しい産業が着実に育ちつつあります。自然の恵みと最先端技術が共存する能代市で暮らしてみませんか。

住んでる方に聞きました！

毎日に、のんびりと心地よさを。
能代で子育て

能代暮らしの楽しみは、子どもと一緒に産直めぐりや日帰り温泉、公園遊びに、家族でのスポーツ観戦。休日はテラスでの～んびり、地元スーパーのお惣菜とお酒で地産地消も満喫中！そんな日々の暮らしをのしろ暮らし公式X (@noshiro_class) で発信中です。



「のしろ暮らし」
スタッフ



DATA

人口：46,828人 夏の平均気温：22.0℃
医療機関数：66施設 冬の平均気温：1.2℃
就学前施設数：17施設 降雪量：260cm

移住者支援制度

- 能代市に「移住」して「働く」
45歳未満の方へ補助金制度も！
※いずれも金額は上限
- 引越し費用、暖房機器購入設置費用、テレワーク設備整備費用、ペーパードライバー講習費用、自動車冬季用備品・除雪用具等購入費用 20万円（加算制度あり）
- 住宅取得費用
新築住宅 100万円、中古住宅 50万円（加算制度あり）
- 住宅賃借費用 35万円

移住体験してみよう！

- オーダーメイド型移住体験ツアー
2泊3日の能代旅！能代に移住したらどんな暮らしになるのかな？冬の暮らしは？能代で確認したいことをお伺いしプランを作ります。プラン作成やガイド料など無料です。交通費、宿泊費の半額助成も！（最大5万円）



お問い合わせ先 能代市 移住定住推進課

連絡先：☎ 0185-74-6767 Email：iju@city.noshiro.lg.jp

HP：https://www.city.noshiro.lg.jp/sangyo/iju-teiju/11013

公式サイト /



[ふじさとまち]

藤里町

白神山地のふもとで
“とんじこんじ”ライフ

羽田から2時間かからず到着する、世界自然遺産のまち。豊かな自然と人のあたたかさが自慢。合言葉は「とんじこんじ」。周りに流されず自分の納得するやり方だという意味の秋田弁。都会とは一味違うライフスタイルを藤里町で探してみませんか？

住んでる方に聞きました！

家族時間も充実
伝統芸能も楽しめる町

コンビニも駅ありませんが、夜8時まで営業しているスーパーがあり、車とネットを活用して程よくシンプルに暮らせます。職住近接の人が多く、家族と過ごす時間を取りやすいのがメリット。雪かきの汗をすぐその温泉で流すことができたり、都会とは違う楽しみ方ができます。



暮らし・子育ての相談窓口
佐々木 絵里子さん



DATA

人口：2,700人 夏の平均気温：21.7℃
医療機関数：1施設 冬の平均気温：-0.5℃
就学前施設数：2施設 降雪量：420.9cm

移住者支援制度

- 家や引越しに関すること
- 空き家バンク
- 定住化促進アパート
- 住宅新築・改修費用補助
- 引越し代金補助など
- その他
- 運転免許取得費用補助
- 移住相談窓口
住まいの相談：
NPO 法人ふじさと元気塾
子育て・暮らしの相談：
わたす研究所
- 子ども・子育てに関すること
- 妊娠・出産の応援に 5万円
- 小中高入学祝に 3万円
- 高校生まで医療費無料
- 高校生へは毎月交通費 1万円
- 保育園・幼稚園・小中一貫校で少人数ならではのきめ細かな指導

移住体験してみよう！

■ お試し移住体験住宅「粕毛の家」

白神の山々を望む一軒家。薪ストーブやご近所さんとの交流も楽しめます。



■ 移住体験ツアー

オーダーメイドでご案内！
旅費の補助もあります。ぜひお問い合わせを。

お問い合わせ先 藤里町 総務課企画財政係

連絡先：☎ 0185-79-2111 Email：kikaku@town.fujisato.lg.jp

HP：https://f-redesign.jp/ikikata/

公式サイト /





〔はっぽうちょう〕

八峰町

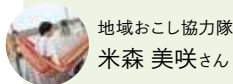
みんなの笑顔が
絶好調！八峰町！

県北西部の小さなまち、八峰町。青森県に隣接し、西は日本海・東は白神山地に囲まれ、自然の恵みあふれるまちです。農業と漁業が盛んで、多くの若者が活躍しています。子育て支援やICT教育に力を入れ、子育てしやすいまちを目指しています。

住んでる方に聞きました！

海・山・温かいつながりに 囲まれた暮らし

自然に囲まれた八峰町での暮らしに変えてから、子どもは毎日元気に外遊び、夫は田舎道でランニング。仕事に追われず、家族と過ごす時間が増えました。地域の方と交流する機会も多く、人とのつながりが温かいまちだと感じています。



地域おこし協力隊
米森 美咲さん



DATA

人口：6,227人
医療機関数：5施設
就学前施設数：2施設
夏の平均気温：21.5℃
冬の平均気温：1.6℃
降雪量：287.4cm

移住者支援制度

■空き家活用住宅

町がリフォームした一軒家に、家賃最大 35,000 円で住むことができます。

■住まいづくり応援事業

空き家の購入やリフォームに最大 100 万円、新築には最大 200 万円の補助をします。

■子育て世帯向け支援

- 赤ちゃん誕生祝い金として、1人あたり 10 万円を贈呈します。
- 18 歳まで医療費が無料です。
- チャイルドシート購入費の上限1万円を補助します。
- 小学校入学時にランドセル（モンベル製バックパック）を贈呈します。



お問い合わせ先 八峰町 企画政策課

連絡先：☎ 0185-76-4603 Email：kikaku@town.happou.akita.jp

HP：https://www.happo.lg.jp

公式サイト /



〔みたねちょう〕

三種町

きれいな空気と水で育つ
じゅんさいの郷

じゅんさいで有名な三種町。オレンジ色の夕日に合える海岸、みどり色の田園風景、澄んだ空気の中でのんびりとした田舎暮らしが楽しめます。人の優しさを感じながら、ゆったりとした時間の中で新しい自分に出会ってみませんか。

住んでる方に聞きました！

食と遊びが満載！ 子育てに優しい豊かな町

とにかくおいしい野菜や果物が安く買えます。習い事も安く、給食費や医療費などの助成が充実しています。天気を気にせず遊べる子育て交流施設「みっしゅ」もあり、子育て支援が手厚いと感じます。サンドクラフトや世界じゅんさい摘み取り選手権など、イベントも楽しい町です。



KAHERU WORKS
三浦 翔悟さん



DATA

人口：14,027人
医療機関数：9施設
就学前施設数：3施設
夏の平均気温：22.0℃
冬の平均気温：1.2℃
降雪量：346.78cm

移住者支援制度

■子育て世帯向け支援

- 赤ちゃん誕生祝い金として、第1子 10 万円、第2子 20 万円、第3子以降 30 万円を贈呈します。
- 0 歳～高校卒業までの医療費が全額無料です。
- 小学校入学時にランドセルをプレゼントします。
- 町立小中学校在籍の児童生徒の給食費は全額免除、町内に住所を有し町外の小中学校に通う児童生徒には一定額を補助します。
- 保育料を全額助成します。

■その他の支援

- 若者世帯（50 歳以下）や子育て世帯の住宅取得に最大 120 万円補助します。
- 婚姻届提出後、2 ヶ月以内に町内の同一住所に居住された夫婦へ 10 万円を交付します。
- 自力での除排雪が困難な高齢者等への支援を行います。



お問い合わせ先 三種町 企画政策課企画係

連絡先：☎ 0185-85-4817 Email：kikaku@town.mitane.akita.jp

HP：https://www.town.mitane.akita.jp/

公式サイト /





[あきたし]

秋田市

ちょうどいいから 住みやすい

美術館やショッピング、最新医療施設など、都市機能の利便性は享受したい、けれども時には喧騒から解放され、自然に包まれ心を癒やしたい。都市機能と自然を併せ持つ秋田市には日々を暮らす上での“ちょうどよさ”があふれています。

住んでる方に聞きました！

自然と都市が調和する 暮らしやすいまち

自然と都市機能のバランスの良さが魅力です。田植えや野菜の収穫など自然の中でのパワーチャージに加え、中心市街地で人との交流やアートに触れて新たな刺激を得ることもできます。新幹線や飛行機などの交通手段が充実しているので遠出も可能で、暮らしやすさは抜群です。



秋田市地域おこし協力隊
平石 かなたさん



DATA

- 人口：293,116人
- 医療機関数：424施設
- 就学前施設数：127施設
- 夏の平均気温：22.7℃
- 冬の平均気温：1.4℃
- 降雪量：379.3cm

移住者支援制度

■ 子育て世帯または若者移住促進事業補助金

県外から移住する子育て世帯や若者世帯の住宅の新築・購入や賃借、転居に係る費用を補助します（一定の要件あり）。

■ 移住相談

東京の移住相談八重洲センターでは対面とオンラインによる移住相談の他、仕事探しをサポートします。

移住相談八重洲センター TEL 0120-99-1101

■ 創業支援補助金

県外から移住して創業する方に、創業に要する経費の一部を補助します（一定の条件あり）。

産業振興部商工貿易振興課 創業支援担当 TEL 018-888-5728

移住体験してみよう！

■ 移住体験住宅

移住前にリアルな暮らしを体験。補助制度あり。



■ 移住体験ツアー

オーダーメイドのツアーです。補助制度あり。



[おがし]

男鹿市

ナマハゲ付き「男鹿暮らし」 いかがですか？

三方を海に開かれ、山海の恵み豊かな男鹿半島。ユネスコ無形文化遺産にも登録された「男鹿のナマハゲ」が有名な男鹿市では、官民が連携したまちの活性化や、「子育て環境日本一」を目指し、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

住んでる方に聞きました！

ナマハゲ文化を継承しながら 楽しむ男鹿の暮らし

ナマハゲ文化の保存・継承に携わりたくて、家族で移住してきました。娘もすっかり慣れっこですが、ナマハゲとの約束で良い子に成長してくれています。休日には、道の駅巡りや娘と寒風山に登ったり、鵜ノ崎海岸を散歩したりと男鹿の自然を満喫しています。



男鹿市総務企画部
企画政策課 主席主査
伊藤 大輔さん



DATA

- 人口：23,113人
- 医療機関数：24施設
- 就学前施設数：6施設
- 夏の平均気温：23.1℃
- 冬の平均気温：2.6℃
- 降雪量：385.3cm

移住者支援制度

■ 移住者住宅取得等支援事業補助金

移住する世帯の住宅取得や改修、住宅の賃貸に要する費用を最大120万円補助します。

■ 男鹿暮らし移住応援助成金

県外から男鹿市へ移住する世帯に対して10万円（子ども一人につき10万円加算）支給します。

■ 子育て支援

- 保育料及び中学校までの給食費完全無償化
- 保育施設おむつ無償化
- 高校生までの保険診療分の医療費自己負担分全額無償化
- 小・中・高と入学時に助成金支給



移住体験してみよう！

■ 移住体験ツアー

家族構成や移住の目的に応じて、オーダーメイドでご提案します。体験ツアーにも活用可能な交通費の助成もございます。

■ 移住体験住宅（令和7年秋頃から開始予定）

Wi-Fi完備のためリモートワークも可能です。

お問い合わせ先

秋田市 人口減少・移住定住対策課

連絡先：☎ 018-888-5487

Email: ro-plpo@city.akita.lg.jp

HP: <https://akitacity110.com/>

公式サイト /



お問い合わせ先

男鹿市 企画政策課

連絡先：☎ 0185-24-9122

Email: oga_iju@city.oga.akita.jp

<https://www.city.oga.akita.jp/ijuteiju/index.html>

公式サイト /





【かたがみし】

潟上市

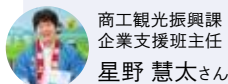
都市的で自然も豊か。
程よく田舎。程よい潟上

秋田県のほぼ中央の沿岸部に位置し、県都秋田市に隣接したベッドタウンであり、豊かな自然環境もある潟上市。ショッピングや医療施設に不便はなく、2つある道の駅でレジャーも楽しめます。快適で程よい田舎暮らしに適した市です。

住んでる方に聞きました！

潟上市で楽しむ自然と ショッピングの充実スポット

コンパクトな町ですが、産直施設やバーベキュー広場、入浴施設が集めた「天王グリーンランド」、2ヘクタールの花壇広場と鑑賞温室を有する「ブルーメッセあきた」、スーパーや家具店などが建ち並ぶ「メルシティ潟上」など、余暇を過ごすのに最適な場所がそろっています。



商工観光振興課
企業支援班主任
星野 慧太さん



DATA

人口：31,420人
 医療機関数：23施設
 就学前施設数：15施設
 夏の平均気温：22.0℃
 冬の平均気温：0.4℃
 降雪量：392.8cm



移住者支援制度

はじめての潟上暮らし応援助成金

県外から潟上市へ移住する世帯に対して、10万円を支給します。

住宅リフォーム補助金

住宅の増改築やリフォームに係る工事費用の一部を補助します。

- 定着回帰型 費用の2割最大 20万円
- 中古住宅購入型 費用の3割最大 30万円

潟上市創業支援事業補助金

市外から転入して新たに事業を開始する場合に
上限額100万円を補助します。(補助率3分の2)

潟上市結婚新生活支援事業

これから夫婦として新生活をスタートする特定の要件を満たした世帯を対象に、結婚新生活にかかる費用(家賃、引越費用等)を支援します。
夫婦ともに29歳以下→1世帯あたり上限60万円
夫婦ともに39歳以下→1世帯あたり上限30万円

無料職業紹介事業

潟上市では、求職者に対して市内企業などへのあっせん行為を行う「無料職業紹介所」を開設しています。仕事をお探しでしたら、ぜひご相談ください。求人情報は市ホームページからもご覧いただけます。

【ごじょうめまち】

五城目町

移住起業者が、新たな風を
吹き込み続ける町

530年の歴史を誇る五城目朝市、そして、若者の出店やチャレンジを応援する「ごじょうめ朝市plus+」は賑わいと活気で満ち溢れています。また、郷土食だまこもち、日本酒、キイチゴ、山菜など、おいしい食材に恵まれています。

住んでる方に聞きました！

伝統を受け継ぎつつ 新しいチャレンジを応援

530年続く朝市があり、賑やかな朝。秋田杉の林業に関連した木工芸や山菜など、山の恵み豊富な五城目町。最近は関東圏等東日本からの移住者だけでなく、関西圏からの移住者も増え始めています。自身の得意分野で自分らしさを表現しようという開拓者精神を感じる町です。



Huddle up Coffee Roasters
店主 宇野さん



DATA

人口：7,739人
 医療機関数：9施設
 就学前施設数：2施設
 夏の平均気温：22.0℃
 冬の平均気温：0.4℃
 降雪量：361cm



移住者支援制度

移住者・起業者が集う拠点

閉校となった木造小学校を活用した「五城目町地域活性化支援センター」は起業支援の拠点となっており、先輩移住者の方や地域おこし協力隊が新しい発想の実現に奮闘中です。町の地域資源を活かして、「ドチャベン」(土着ベンチャー)にチャレンジしませんか？

関係人口創出・拡大事業

町に興味がある方、移住を考えている方など、どなたでも気軽に参加できる町の交流イベントを首都圏で開催しています。お酒を片手においしい料理を食べながら町について語りましょう！



Huddle up Coffee Roastersの店主・宇野さんも、移住者のひとり。五城目には、新たなチャレンジを応援する仕組みがあります。

お問い合わせ先

潟上市 商工観光振興課

連絡先： ☎ 018-853-5350

Email: kigyo-s@city.katagami.lg.jp

HP: https://www.city.katagami.lg.jp

公式サイト



お問い合わせ先

五城目町 まちづくり課

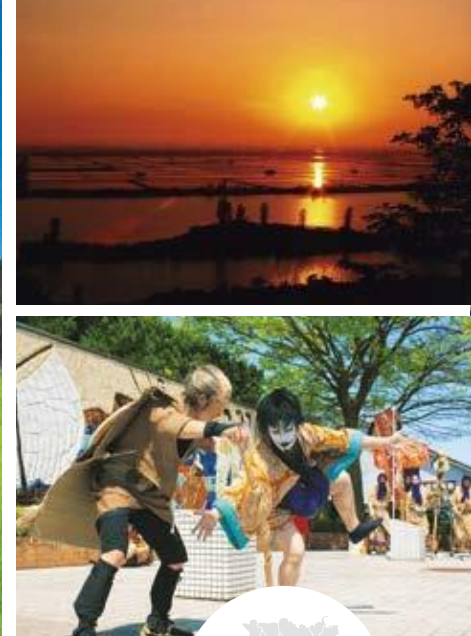
連絡先： ☎ 018-852-5361

Email: machi@town.gojome.lg.jp

HP: https://gojome.net/

公式サイト





〔はちろうがたまち〕

八郎潟町

お出かけにちょうど良い 住みやすい町です

国道7号線や、JR 八郎潟駅、そして高速道路のICがあるため交通の便が良く、秋田市や能代市までは1時間程度で、無理のない通勤・通学ができます。また、県内では積雪も少なく、一年を通して住みよい町となっています。

住んでる方に聞きました！

八郎潟町で味わう 伝統の願人踊と盆踊り

県内で一番面積が小さくコンパクトですが、息づく伝統文化のインパクトは県内屈指です。女装の踊り手が家々を門付する力強い「願人踊」は毎年5月5日開催。「一日市盆踊り」は8月18～20日の3日間開催していて、色とりどりの衣装をした踊り子が歌い踊ります。

八郎潟町
イメージキャラクター
ニャンパチ



秋田県三大盆踊りの
一日市盆踊り

DATA

人口：5,091人
医療機関数：4施設
就学前施設数：1施設
夏の平均気温：22.0℃
冬の平均気温：0.4℃
降雪量：392.8cm



移住者支援制度

■ 八郎潟町住まいづくり支援事業補助金

町外から移住し、町内の空き家を購入する世帯に対し、中古住宅購入費用やリフォーム費用などを助成します。（補助対象額の50%・上限40万円、加算要件に該当する場合最大100万円）

■ 八郎潟町移住支援助成金

町外から移住し、5年以上継続して町に居住できる世帯（世帯主が60歳未満）に対して、1人あたり月額3千円を2年間助成金として交付します。※若者世帯へ加算要件有。

■ その他

八郎潟町地方就職支援金（東京圏内の学生向け）
高校生までの医療費無料、
給食費無償化



お問い合わせ先 八郎潟町 産業課

連絡先：☎ 018-875-5803 Email: sangyou@town.hachirogata.lg.jp

HP: <https://www.town.hachirogata.akita.jp/>

公式サイト /



〔いかわまち〕

井川町

井川町での～んびり 暮らしませんか？

井川町は四季折々の美しい自然に囲まれた、心温まる町です。春は日本国花苑の桜、夏は緑豊かな山々や田園風景、秋は黄金色に輝く稲穂や紅葉、冬は雪景色や町の玄関口である井川さくら駅のイルミネーションと、季節ごとに異なる魅力があります。

住んでる方に聞きました！

子どもの成長に寄り添う 子育てのまち

井川町は、秋田市から車で約40分の場所に位置しています。楽しいイベントが盛りだくさんの「子育て支援多世代交流館みなくる」や、生徒たちがのびのびと学んでいる「井川義務教育学校」などがあります。子育てしやすい環境が整っているこの町で、新しい生活を始めてみませんか？

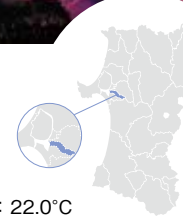
井川町地域おこし協力隊
橋野さん



井川さくら駅の
イルミネーション

DATA

人口：4,095人
医療機関数：3施設
就学前施設数：1施設
夏の平均気温：22.0℃
冬の平均気温：0.4℃
降雪量：392.8cm



移住者支援制度

■ 井川暮らし応援補助金

県外から移住し、町内で雇用される方もしくは新たに事業を営む方に対し、15万円を補助します。（県外出身者の方には15万円を加算）

■ 住宅リフォーム補助金

県外から移住し、住宅のリフォーム工事等を行う方に対し、対象工事費の10%（上限20万円）を補助します。また、中古住宅を購入し、リフォーム等を行う方には対象工事費の15%（上限30万円）を補助します。

■ 充実の子育て支援

こどもセンター保育料の完全無償化、高校生までの医療費無料、義務教育学校の給食費無料、高校生等の通学定期券購入費の全額助成など



お問い合わせ先 井川町 総務課

連絡先：☎ 018-874-4411 Email: kikaku@town.ikawa.akita.jp

HP: <http://www.town.ikawa.akita.jp>

公式サイト /





【おおがたむら】

大潟村

湖を干拓して生まれた コンパクトタウン

今から約60年前に、日本第二の湖であった八郎湖を干拓して誕生した、比較的新しい村です。田舎でありながら、生活に必要な施設が徒歩圏内にまとまったコンパクトタウンです。「桜と菜の花ロード」は、春の絶景スポットとしても人気です。

住んでる方に聞きました！

子どもも大人も支え合う 大潟村のやさしいコミュニティ

どこへ行くにも車で約2分と移動がスムーズ。渋滞のストレスがなく、子育てや通勤・買い物も快適です。広大な田んぼとまっすぐな道に異国感が漂います。子どもたちは学年を越えて遊び合い、地域の絆も深まっています。移住者にも温かく、自然豊かなコンパクトヴィレッジです！



地域おこし協力隊
明平 冬美さん



DATA

人口：2,942人
医療機関数：2施設
就学前施設数：1施設
夏の平均気温：21.7℃
冬の平均気温：1.1℃
降雪量：323.0cm



移住者支援制度

■ 住まいづくり支援事業

分譲地や空き地購入して住居を立てた場合、工事費の5%（上限100万円）を補助金として交付します。また、移住者世帯の場合、世帯員1名につき25万円（上限4名、100万円）分の商品券を交付します。

■ 宅地分譲

令和7年9月から分譲地の販売を行っています。詳細は大潟村ホームページをご覧ください。

■ 教育留学

大潟村の学校に1～2週間程度通い、豊かな教育環境を体験できます。普段と異なる環境を体験することは、こどもの成長にも大きな影響を与えます。まずはお問合せください。



お問い合わせ先 大潟村 総務企画課

連絡先：☎ 0185-45-2111 Email：g-kikaku@vill.ogata.akita.jp

HP：https://www.vill.ogata.akita.jp/genre/settlement

公式サイト



【ゆりほんじょうし】

由利本荘市

自然に囲まれのびのびと 子育てしやすいまち

秋田県一広く工業と農業が調和するまち。鳥海山・子吉川・日本海と美しい自然があふれ、マリレジャー、スキーなど四季を通じてさまざまな趣味を楽しめます。充実した子育て支援もあり、親子でのびのびとした暮らしが実現できます。

住んでる方に聞きました！

木のおもちゃ館と 自然が彩る癒しの時間

休日は、郷愁あふれる木造校舎を活かした「木のおもちゃ館」へ子どもとよく出かけします。心躍るおもちゃで遊ぶことができ、大人も木の温もりを感じながら童心に返ります。鳥海山と芋川桜堤の美しい風景を楽しめる通勤時間は、季節の移ろいを感じる贅沢なひとときです。

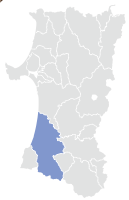


移住相談員
いとうさん



DATA

人口：69,800人
医療機関数：45施設
就学前施設数：24施設
夏の平均気温：22.3℃
冬の平均気温：1.9℃
降雪量：449.8cm



移住者支援制度

■ 相談員によるサポートと子育て支援

仕事や住まい、暮らしに関する情報提供をワンストップでサポート。保育料軽減、副食費無償、高校生まで医療費無料など、充実の子育て支援！

■ 定住促進奨励金

2人以上の世帯での移住で、一定の要件を満たした方に30万円を交付します。

■ 交通費助成

移住・就労体験、採用面接に係る交通費を最大4万5,000円助成します。

移住体験してみよう！

■ ゆりほん保育・教育遊学

本物の自然の中で「子育て+いなか暮らし」をテーマに、広い園庭のある保育園や小中学校での体験をしつつ地域と交流。親子でのんびり子育て生活を体験できます。要事前相談。



お問い合わせ先 由利本荘市 移住支援課

連絡先：☎ 0184-24-6247 Email：iju@city.yurihonjo.lg.jp

HP：https://yurihonjo-teiju.jp/

公式サイト





[にかほし]

にかほ市

海と山と暮らす

豊かな子育てしませんか！

鳥海山と日本海に抱かれ、豊かな水資源も有する自然豊かなまち。県内一あたかく比較的積雪量も少ないので、雪国暮らしはじめてさんにもオススメ！子育て関連施設・支援制度共に充実した子育て応援のまちなので、家族での移住にもピッタリ！

住んでる方に聞きました！

自然遊び満喫！

家族で楽しむにかほ休日

子どもの頃の自然遊びを再現したくて、家族でUターンしました。庭でのBBQや近所での山菜取り、釣った魚を捌いて晩御飯にしたりと、したいことがすぐに楽しめる環境があります。キャンプや川遊びができる「奈曾川河川公園」は、お子さんを連れて訪れる方で賑わうスポットです。



にかほ市移住リエゾン
鈴木 憲人さん



DATA

- 人口：21,462人
- 夏の平均気温：24.1℃
- 医療機関数：18施設
- 冬の平均気温：3.5℃
- 就学前施設数：8施設
- 降雪量：384.5cm



移住者支援制度

- 移住のかけ橋「移住リエゾン」がアナタとにかほ市をお繋ぎします。移住に関する不安やお悩み、お気軽にご相談ください。
- 所得制限なしで、保育料・副食費完全無償、高校生までの医療費無料！子育てするならにかほ市へ！
- 住まいの支援は最大50万円の定住奨励金や若者世帯向けの家賃補助金、お仕事支援は無料職業紹介所による就職相談・マッチング支援など、支援制度も充実！

移住体験してみよう！

■移住体験住宅

1日1,000円で利用できるお試し移住体験住宅があります！Wi-Fiも完備しているので、リモートワークの方にも◎



■移住体験ツアー

オーダーメイドでお試し移住体験ツアーも！市内で行きたい・みたいところを事前によく相談し、移住リエゾンがご案内いたします！

[せんぼくし]

仙北市

田沢湖や武家屋敷

温泉など特色の多いエリア

日本一の深さを誇る「田沢湖」、桜の名所として知られる「角館の武家屋敷」、秘湯として人気の高い「乳頭温泉郷」など、多彩な自然と文化資源に恵まれた観光と交流のまちです。風光明媚な仙北市で、憧れの田舎暮らしをしてみませんか？

住んでる方に聞きました！

自然と文化に恵まれ

支援も充実した仙北市の魅力

26年前に秋田県に移住し、6年前に仙北市に家族で移住してきました。恵まれた観光地で家族が起業し、豊かな自然とお祭りなどに触れながら子どもたちも育っています。子育てで支援や移住者支援も充実していますので、仙北市でお待ちしています！



仙北市企画部
次長兼まちづくり課長
泉谷 衆さん



DATA

- 人口：22,621人
- 夏の平均気温：21.0℃
- 医療機関数：23施設
- 冬の平均気温：-1.6℃
- 就学前施設数：8施設
- 降雪量：420.3cm



移住者支援制度

- 移住直前に秋田県外に5年以上継続して住み、仙北市に移住する方へ、初期費用の負担軽減に向けて基本額10万円（子育て世帯加算額5万円）のほか、雪国暮らしに必要な暖房機器や除雪器具などについて10万円を上限に助成します。
- 仙北市に定住するため、新たに取得した住宅に係る固定資産税納付相当額を、課税初年度から3年間助成します。また、仙北市で新生活を始める新婚世帯に住宅購入費やリフォーム費、家賃や引越費用などを助成（夫婦の年齢により上限30～60万円）します。
- 空き家バンク登録物件の紹介、保育料の全額助成や高校生までの医療費無料、育児支援金や子育てファミリー支援金などの助成制度や、産後ケアや子育て相談などのサポート体制が整っています。

移住体験してみよう！

■仙北市移住体験事業

仙北市への移住を検討している方に、本市での生活を一時的に体験することができる移住体験ハウス（利用無料）の提供や移住体験のサポートを行います。さまざまな体験プログラムのなかからご希望に応じたオーダーメイドな体験メニューを調整します。また、利用期間中における市内の移動に要する経費を1世帯あたり5万円助成します。



お問い合わせ先

にかほ市 連携推進課

連絡先：☎ 0184-43-7510

Email: renkei@city.nikaho.lg.jp

HP: https://www.nikahome.jp

公式サイト



お問い合わせ先

仙北市 企画部 まちづくり課

連絡先：☎ 0187-43-3315

Email: machi@city.semboku.akita.jp

HP: https://www.city.semboku.akita.jp/egukite/

公式サイト





【だいせんし】

大仙市

人が活き 人が集う 夢のある田園交流都市

全国花火競技大会「大曲の花火」が開催され、市町村別米収穫量全国第2位を誇る日本有数の米どころ。子どもの医療費、保育料無償化など子育て支援に力を入れています。伝統行事や食などの地域資源に恵まれた大仙市で暮らしてみませんか。

住んでる方に聞きました！

大曲の花火とナイトマーケットで賑わう大仙市

大仙市を盛り上げようと頑張っている地域の方がたくさんいます。全国的に有名な「大曲の花火」に合わせて開催される「丸子川ナイトマーケット」では、さまざまなキッチンカーやショップが立ち並び、お店の方とお客さんで賑わい活気に満ちています。是非訪れてみてほしいです。

移住定住促進課 主任
柴田 友梨華さん



DATA

人口：72,913人
医療機関数：91施設
就学前施設数：29施設
夏の平均気温：23.9℃
冬の平均気温：1.1℃
降雪量：333cm



移住者支援制度

■住宅取得支援事業

本市に移住・定住しようとする方の住宅取得費を支援します。（最大200万円）

■家賃支援事業

本市に移住・定住しようとする方（若者・子育て世帯）の家賃を支援します。（最大3万円×12ヶ月）

■だいせん暮らし応援事業

県外から本市に移住した方の引越費用、自動車運転免許取得等費用、除雪用具購入費を補助（合わせて最大10万円）します。

■無料職業紹介所

本市への移住を希望する方などの就業を支援します。

移住体験してみよう！

■魅力体験住宅「yukoso」

本市への移住を検討している方が生活体験を行う際の宿泊拠点としてお使いいただけます。

■移住体験応援事業

本市への移住を検討している方に対し、市内での移住体験（農業・文化体験、地元住民との交流等）に要する費用を支援します。（世帯5万円・単身3万円）

【みさとちょう】

美郷町

清水の郷として知られる のどかなまち

日本名水百選のひとつに選ばれた「六郷湧水群」や、初夏を彩る町の花「ラベンダー」といった自然が豊かで、国の重要無形民俗文化財に指定されている「六郷のカマクラ」など、四季を通じて魅力があふれています。

住んでる方に聞きました！

湧水の恵みと癒しの香りに包まれた町暮らし

湧水が生活用水になっている地域に暮らしており、水の豊かさを日々堪能しています。東北随一のラベンダー園で香りに癒され、町内の買い物もニーズにマッチしていて、ゆったりした生活ができます。大仙、横手、仙北などの近隣各市へのアクセスも良くて便利です。

地域おこし協力隊
移住コンシェルジュ
梶原 恵美子さん



DATA

人口：17,197人
医療機関数：6施設
就学前施設数：3施設
夏の平均気温：23.9℃
冬の平均気温：1.1℃
降雪量：333cm



移住者支援制度

- 定住のための300万円以上の住宅の整備（新築・購入・リフォーム等）を行った場合、奨励金を交付します。
- 新たに美郷町で起業される方に、事業所開設に要する経費の1/2（最大200万円まで）を助成します。

移住体験してみよう！

- 美郷町を移住先の選択肢としてお考えの方に、お試し移住体験にかかる交通費や宿泊費を助成します。さまざまな「美郷暮らし」体験コースの中から好きなコース、スポットを選べます。

- 農業体験コース
- 雪国体験コース
- 先輩移住者交流コース
- オーダーメイド型コース
- 空き地・空き家視察コース

※コース一例



左記のコースを参考に申請者独自でコースを設定することも可能です。

お問い合わせ先 大仙市 企画部 移住定住促進課

連絡先：☎ 0187-63-1111 Email：iju@city.daisen.lg.jp

HP：https://www.city.daisen.lg.jp/genre/promotion/p-immigration

公式サイト



お問い合わせ先 美郷町 商工観光交流課

連絡先：☎ 0187-84-4909 Email：kanko@town.misato.akita.jp

HP：https://www.town.misato.akita.jp

公式サイト





[よこてし]

横手市

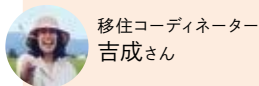
豊かな食、伝統に多彩な ヒトが集まるまち

果物、お米、野菜、発酵文化などの豊富な食や、増田の町並みなどの伝統が残り、豊かな暮らしができる「素材」がいっぱいです。恵まれた自然と教育環境の中で、子どもはのびのびと、子どもらしい時間を過ごしています。

住んでる方に聞きました！

伝統と自然と人が調和する ワクワクが溢れ出すまち横手市

伝統的な祭り以外にもイベントが多いので、休日は充実しています。個人で活躍している、しようとしている若者も目立ち、ワクワクできることも魅力です。移住者交流会も企画していますので、気軽にご相談ください！



移住コーディネーター
吉成さん



DATA

人口：79,670人 夏の平均気温：24.4℃
医療機関数：173施設 冬の平均気温：0.3℃
就学前施設数：37施設 降雪量：522cm

移住者支援制度

■ 移住コーディネーターがあなたの移住をサポート

お仕事や住まい探し、移住に伴う不安やお悩みに横手市移住コーディネーターがお手伝いいたします。また、移住情報の発信やイベント開催も行っておりますのでぜひお気軽にご相談・ご参加ください！

■ UIJ ターン・起業をサポートします

横手市で就職を考える方へ、横手の就職情報・起業情報を集約した「横手JOBナビ」をご活用ください。企業の情報もわかるので、求人情報より一歩踏み込んだ情報が見つかります！

■ 充実した横手の出産・子育て環境と 雪国暮らしを支える支援制度

保育料・副食費助成無料！高校生まで医療費無料！広さ約700平米の充実した横手市児童センター（屋内遊戯施設）や雪国よこてにおいて住宅改修費の一部を補助しています。

移住体験してみよう！

■ 横手暮らし体験事業

横手市移住定住促進事業の一環として横手市への移住を検討している方などを対象に、横手市内での生活体験ができる場所を提供するため、市が対象施設の使用料の一部を負担します。

公式note /



お問い合わせ先 横手市 まちづくり推進部 横手の未来とものつくる課

連絡先： ☎ 0182-35-2266

Email： miratomo@city.yokote.lg.jp

HP： https://www.city.yokote.lg.jp

公式サイト /



[ゆざわし]

湯沢市

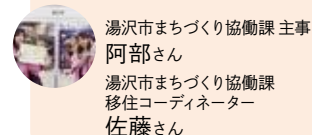
のびのび子育てできる ゆざわのまち

自然・温泉・伝統文化などが息づく、暮らしやすいまちです。保育料や医療費の助成、移住者向け住宅支援など、子育て世帯にもやさしい制度が充実しています。地域の人々のあたたかさ、ちょっとした暮らしのリズムが心地よく寄り添います。

住んでる方に聞きました！

充実した支援で 子育てしやすいまち

湯沢市では、すべての子どもの保育料無償化や学校給食費無償化をはじめ、子どもの医療費全額助成などの支援を行っています。また、「七夕絵どうろうまつり」や「犬っこまつり」などのお祭り、ウィンタースポーツもあり子どもをのびのびと育てられます。



湯沢市まちづくり協働課 主事
阿部さん
湯沢市まちづくり協働課
移住コーディネーター
佐藤さん



DATA

人口：38,925人 夏の平均気温：22.1℃
医療機関数：26施設 冬の平均気温：-0.5℃
就学前施設数：12施設 降雪量：439cm

移住者支援制度

■ 移住支援制度

- 湯沢市空き家改修事業補助金
湯沢市空き家バンクに登録された空き家を利用して市外から移住し、定住しようとする方を支援するため、空き家の改修に係る経費の一部を助成します。
- 湯沢市若者世帯住宅取得費用補助金
本市への移住・定住を促進するため、若者夫婦世帯の新築住宅建築・購入費用の一部を助成します。
(基本額:100万円、子育て世帯加算:20万円、移住世帯加算:20万円)

■ 結婚から妊娠、出産までのサポート制度

- 結婚生活スタート応援
住宅取得費用、住宅賃借費用、引越し費用等を一部助成します。
- 妊産婦に対する医療費助成
妊産婦の医療費自己負担分を母子手帳交付月から子どもが1歳を迎えるまで全額助成します。(令和8年1月～)

■ 子育て支援制度

- 子どもの保育料完全無償化(令和7年9月～)
- 学校給食費無償化
- 0歳から18歳到達年度末までの子どもの医療費全額助成
- 放課後児童クラブの利用料無償化

お問い合わせ先 湯沢市 まちづくり協働課 交流・未来づくり推進班

連絡先： ☎ 0183-56-8386

Email： mirai-gr@city.yuzawa.lg.jp

HP： https://www.city-yuzawa.jp/site/iju-teiju/

公式サイト /





[うごまち]

羽後町

豊かな自然と 伝統芸能が息づくまち

優雅で妖艶な雰囲気が魅力の「西馬音内盆踊り」は、日本三大盆踊りのひとつと称されます。茅葺民家や稲架掛けなど昔懐かしい田園風景が残るまちでもあり、緑豊かな自然環境の中で、全国の市場でも評価の高いおいしい食材を味わえます。

住んでる方に聞きました！

空と星空が美しい 羽後町で味わう居心地の良さ

羽後町で暮らして実感するのは、空の広さです。少し目線を上げるだけで、遠くの山々や星空がはっきり見えます。みはらし荘からの景色は横手盆地を一望できるだけでなく、季節によっては雲海を望むことができるおすすめスポットです。都会とは一味違う、居心地がいい町です。

みらい産業交流課
定住支援員
荘 優輔さん



DATA

人口：12,939人
医療機関数：9施設
就学前施設数：5施設
夏の平均気温：22.1℃
冬の平均気温：-0.5℃
降雪量：436.8cm



移住者支援制度

- 県外転入世帯が住宅を取得した場合、最大100万円の住宅取得奨励金を助成します。
- 県外転入者世帯に最大20万円の住宅リフォーム費用を助成します。
- 18歳まで医療費が無料になります。
- 県外から移住し町内企業に就職した方へ就職応援給付金を支給します。

移住体験してみよう！

■ 移住体験住宅

羽後町体験住宅：オール電化でWi-Fi完備の一軒家を丸ごと貸し切って移住体験ができます。3泊4日～13泊14日で利用可能。



■ 移住体験ツアー

利用者の希望に沿ったオーダーメイド型移住体験ツアーを開催しています。

お問い合わせ先 羽後町 みらい産業交流課

連絡先：☎ 0183-62-2111 (内線224, 225) Email: kanko@town.ugo.lg.jp

HP: https://www.town.ugo.lg.jp/life/index.html?category_id=69

公式サイト /



[ひがしなるせむら]

東成瀬村

自然豊かな仙人の郷 日本で最も美しい村

栗駒山の麓、山々に抱えられた自然豊かな村です。「日本で最も美しい村」連合に加盟している本村では、満点の星空を眺めることができます。四季折々の風景の変化が楽しめる生活をしてみませんか。

住んでる方に聞きました！

自然とイベントに癒される 村での休日の楽しみ方

移住して4年目になります。昨年子どもが生まれたため、会社のメンバー以外にもパママ友達ができました。夏はBBQ、冬はスノーボード等をして楽しんでいます。他には、各地区や全村でお祭りも開催されるので、日々楽しく過ごしています。

東成瀬テックソリューションズ
株式会社
高橋さん



DATA

人口：2,289人
医療機関数：2施設
就学前施設数：1施設
夏の平均気温：22.1℃
冬の平均気温：-0.5℃
降雪量：585.7cm



移住者支援制度

■ 東成瀬村空き家リフォーム

村内の空き家を購入した物件の改修等に要した費用の2分の1以内の額(上限100万円)を交付します。

■ 移住定住奨励金

移住してから1年以上定住された方に、1人あたり5万円を上限に商品券を交付します。



小学校の田植え・稲刈り体験の様子



お問い合わせ先 東成瀬村 企画課

連絡先：☎ 0182-47-3402 Email: kikaku-h@vill.higashinaruse.akita.jp

HP: <https://www.higashinaruse.com/>

公式サイト /



全国トップクラスの子育て支援

秋田県は子育て支援が全国トップクラス。
保育料・医療費の助成も充実しています！

すこやか子育て支援事業

1. 保育料の助成

第1子	子どもの年齢や出生順位 利用施設を問わず	保育料の 1/2 または 1/4 を助成
第2子	第2子以降は	保育料の 全額 を助成
高額所得 世帯の場合	第3子以降が生まれた 世帯の第2子以降	保育料の 1/2 を助成

*所得制限により助成を受けられない場合があります。詳細は各市町村にお問い合わせください。

2. 副食費助成

第1子	子どもの年齢や出生順位、利用施設を問わず	副食費の 1/2 または 1/4 を助成	対 象 者
第2子	第2子以降は	副食費の 全額 を助成	
			令和元年10月から実施された幼児教育・保育の無償化の対象とならない3歳から就学前までの子ども

*1、2とも、子どもの出生時に県外に住んでいた場合も、移住後に適用になります。
*1、2に加えて助成額や対象範囲を拡大している市町村もあります。詳細は各市町村にお問い合わせください。

子育てファミリー支援事業

就学前の子どもを対象とした
一時預かりなどの利用料 **1世帯あたり：15,000円**を助成

対象サービス

お住まいの市町村で実施している一時預かり、病児保育、ショートステイ、トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センターなど

対 象 者

第3子以降の子どもが生まれた世帯における、就学前の子ども

*所得制限はありません。助成の対象となるサービスや手続きについては、お住まいの市町村の窓口にお問い合わせください。

福祉医療費助成事業（マル福）

所得制限なし！医療機関等の窓口で支払う医療費の自己負担分を助成します。

全額を助成

0歳児と市町村民税所得割
非課税世帯の子ども（18歳まで）

半額を助成

上記に該当しない子ども
（18歳まで）

*一医療機関1ヶ月あたりの自己負担額上限1,000円
*市町村によっては、助成内容の拡大など、独自の対応を行っている場合もあります。

連 絡 先

秋田県健康福祉部 健康づくり推進課 国保医療室
連絡先：☎ 018-860-1351



先輩に聞きました！

秋田市で1児を育てる
泉谷 奈緒子さん

初めての子育ては、秋田で
自然とクルマがママの味方です

結婚を機に移住した秋田で、初めての子育てに奮闘中です。豊かな自然がすぐそばにあり、公園や道の駅など遊び場には困りません。子ども向けのイベントも多く開催され、地域の方々との温かい交流が心の支えです。出産を機にペーパードライバーを卒業し、車移動で気兼ねなくお出かけできるのも嬉しい点。季節の祭りも満喫しながら、のびのびと子育てできるこの環境が魅力です。



いずみや なおこ／静岡県出身

静岡県内の大学を卒業後、東京で会社員をしていたが、秋田市に住む男性との結婚を機に秋田市に移住。夫と5歳長女の3人家族。



自然や祭り、イベントも多数
子どもと一緒に楽しんでいます

自然との触れ合いや季節の祭りを楽しむのはもちろんのこと、SNSや知り合いから情報を得て、さまざまなイベントに足を運んでいる泉谷さん。「地方にいても、いろいろな経験をさせてあげたいです」。



秋田県では、子育て中の方やこれから子育てをする方に役立つ、県や市町村が実施する事業内容やイベント情報、子どもの遊び場情報などさまざまな情報を発信しています。

詳細はこちら

あきたの結婚・子育て応援情報Webサイト
いっしょにねっと。



県公式 Instagram

子育てに役立つ情報 総まとめ！

いっしょにこそだてあきた



詳細はこちら



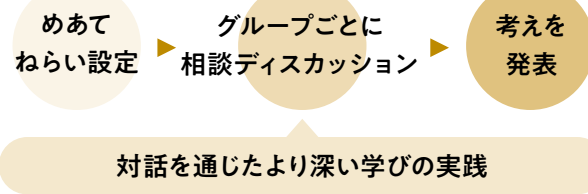
学力全国 トップクラスの秘密



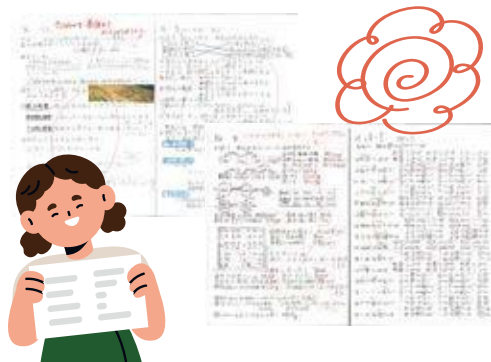
「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）で、秋田県は毎年全国トップクラスの成績を収めています。なぜトップクラスを維持できるのか、その秘密に迫ります。

1. 探究型授業のスタイルが定着！

探究型授業とは、学習の目的をもち、課題についてグループで話し合ったり、学級全体で意見交換をしたりして、子どもたちが主体的に答えを導いていくもの。授業の見通しをもたせるための「めあて・学習課題の提示」や、「振り返りの活動」を通して身に付いたことを実感できる授業スタイルです。



2. 家庭学習が習慣として根付いています！



家庭学習とは、宿題とは別に自主的に内容を決めて行う家庭での学習方法で、秋田県内の小・中学生に根付いているものです。小学校低学年の間は、各家庭で保護者が丸付けし、アドバイスをしています。また、毎日教師が生徒のノートに目を通し、コメントを書いて返します。家庭と学校が協力して、子どもたちの学びをサポートします。

家庭と学校が一体になって子どもたちをサポート！

3. 規則正しい生活習慣が身に付く！

Q. 朝ごはんは毎日食べていますか？



朝ごはんを毎日食べている家庭が多い！

Q. 起床時間は毎日決まっていますか？



毎日、同じくらいの時間に起きる子どもが多い！

秋田の教育や豊かな自然を実際に体感できる！

一部市町村で「**教育留学**」「**保育園留学**」を実施中

該当市町村は P14 に掲載しています。詳しくは各市町村の HP をご確認ください。

秋田で働く

県外にいながら秋田での就職先を探す方法がわからないという方に、秋田県内への就職に向けたサポートをご紹介します。

働く

求人情報掲載サイト あきたジョブ *令和7年9月開設

秋田県内の求人・企業情報を多数掲載しています。（移住支援金制度の対象求人を含む）

連絡先

秋田県あきた未来創造部 移住・定住促進課 移住促進チーム

場所：〒010-8570 秋田市山王4-1-1 県庁本庁舎5階 連絡先：☎ 018-860-1234

詳細はこちら



A ターン就職マッチング支援サイト あきた就職ナビ

秋田県内に就職したい県外在住者と人材を獲得したい県内企業をマッチング！

あきた就職ナビに登録するメリット

- スマホ・PC から手軽に求人情報をチェック&応募
- あなたに興味を持った企業から応募リクエストが届く！
- イベント情報や移住情報&面接交通費の助成も！

連絡先

公益財団法人秋田県ふるさと定住機構

場所：〒010-1413 秋田市御所野地蔵田 3-1-1 秋田テルサ 3F 連絡先：☎ 018-826-1731

詳細はこちら



首都圏総合相談窓口 アキタコアベース 首都圏にお住まいの方必見！

秋田県へ移住を希望される方や学生向けに、専門のサポーターがあなたの仕事探しや移住をバックアップ！

詳しくは P48へ

事業サポート

秋田で「起業」や「事業承継」を始めるとしたら…？ そんなときに頼れる場所や制度をご紹介します。

起業

企画・構想から事業化までをサポート

事業計画へのアドバイスや、補助金の紹介、創業支援室のご案内のほか、起業家の交流イベントも開催しています。

連絡先

公益財団法人 あきた企業活性化センター

場所：〒010-8572 秋田市山王3丁目1-1 秋田県庁第二庁舎2階

連絡先：☎ 018-860-5610 HP：https://www.bic-akita.or.jp/

詳細はこちら



商工会議所・商工会ならではの手厚い支援

商工業の振興発展に努めてきた商工団体としての強みを活かし、夢やアイデアの実現・事業化をプラン作成からトータルサポートしています。

連絡先

起業する地域の商工会議所・商工会

詳細はこちら



事業承継

起業希望者と後継者不在の事業者をマッチング！

秋田県後継者人材バンクでは、起業希望者と後継者不在の会社や事業主を引き合わせ、事業引継ぎの実現に向けた支援を行います。

連絡先

秋田商工会議所 秋田県事業承継・引継ぎ支援センター

連絡先：☎ 018-883-3551 HP：https://akitacci.or.jp/hikitsugi/

詳細はこちら



就農したい人集まれ！

農業を始めるには、技術・資金・労働力など多くの準備が必要です。秋田県では、就農希望者を多様な制度で支援しています。制度を活用して、自分に合った就農スタイルを見つけましょう。

まずは情報集めから！

**秋田県農業経営・就農支援センター**
相談窓口

**秋田就農情報発信サイト**
あきたで農業するべ！
秋田就農ナビ



詳細はこちら

連絡先 公益社団法人 秋田県農業公社
相談日：月曜～金曜（祝日は除く） 場所：〒010-0951 秋田市山王 4 丁目 1-2
連絡先：☎ 018-893-6212 HP：https://akita-agri-navi.com

体験してみよう

就農準備基礎講座

就農希望者に向けて、農業に必要な基礎知識や就農情報（病虫害防除、土づくり、農業簿記など）に関する講座を開催しています。

秋田型農業インターンシップ

県内の希望する農業経営体において 2～5 日間のインターンシップに参加できます。

研修品目 えだまめ／ねぎ／米／大豆
菌床しいたけ／りんご など



自分が目指す就農スタイルを検討しよう！

農業法人に就職 雇用就農

農業法人*などで従業員として農業に従事する方を指します。
*農業法人とは法人形態で農業を行う組織を指し、家族経営の小規模な法人から従業員 100 人超の大規模法人までさまざまです。多くの法人は複数作目を組み合わせており、生産から販売まで一貫して経営している法人もあります。

① 就職先の農業法人を探す

インターンシップ登録法人を中心に秋田県農業公社がサポートします。

② 農業の技術を身につける

技術に不安がある場合でも、農業法人などに雇用され、現場での仕事を通じて技術やノウハウを習得できる制度もあります。

③ 就職してから、独立を目指すことも可能！

雇用就農後、身につけたスキルを活かして独立就農を目指すことも可能！ その場合も支援機関が相談に応じます。

秋田県内の
農業法人数
1015 法人
(令和 6 年 6 月時点)

自分で農業経営 独立就農

新たに農業経営を開始しようとする新規参入者は、農地や農業用機械などの営農基盤を持たないため、就農するための自己資金が必要です。また、農業技術や農業経営のノウハウの習得も必要になるため、自治体のサポートや研修制度を活用しましょう。

■ 秋田アグリフロンティア育成研修

秋田県の研究機関等で行う研修で、営農に必要な経営・生産技術を習得できます。
(就農時の年齢が 50 歳未満の方が対象。研修期間 2 年)

■ 地域で学べ！農業技術研修

市町村の農業研修施設などで、農業技術や経営管理能力の向上を目指します。
(就農時の年齢が 50 歳未満の方が対象。研修期間 2 年以内)



このほか、県や市町村の関係機関による地域の「就農定着支援チーム」が、継続的にサポートします。

林業・漁業もサポート

自然豊かな秋田は、「林業を始めたい」「漁業に従事したい」方も多方面からサポートしています。未経験の方も、まずは情報収集から始めて就業への第一歩を踏み出ませんか？

林業



林業の就業相談窓口

あきた森の仕事ナビ

連絡先 公益財団法人 秋田県林業労働対策基金
(秋田県林業労働力確保支援センター)
連絡先：☎ 018-864-0161 HP：https://akita-no-mori.com



研修

秋田林業大学校

2 年間の研修で、現場で活かせる知識・技術を習得し、将来の秋田県の林業を担う若い技術者を育成します。
(入講年度 4 月 1 日時点で 42 歳未満の方)

1 年目 基礎力の習得

- ・基礎的な知識と技術
- ・林業機械の基本操作
- ・事業管理の基礎知識

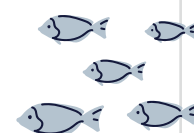
2 年目 実践力の習得

- ・長期間のインターンシップ
- ・林業機械の総合操作技術
- ・マネジメント能力

知識・技術・資格を活かして就職へ

連絡先 秋田県林業研究研修センター 研修普及指導室
連絡先：☎ 018-882-4512

漁業



研修

あきた漁業スクール

漁業の基礎から実践までを現場で学べる各種研修を実施しており、漁業者の確保・育成に取り組んでいます。

14 日間程度 トライアル研修

本県漁業に興味を持つ方を対象に、短期の基礎的研修を実施します。

2 年 独立型・雇用型研修

- ・漁業就業を目指す方への、ベテラン漁業者による実践的な技術研修です。
- ・研修に必要な費用について助成を行います。

■ お問い合わせ 就業相談のほか、詳細な研修の内容や必要な手続きについてもご案内します。

連絡先 秋田県漁業協同組合 秋田県農林水産部 水産漁港課
連絡先：☎ 018-845-1311 連絡先：☎ 018-860-1885

地域おこし協力隊になる

都市部からの移住者の活躍の場として年々注目度が上昇！
あなたのスキルや経験を活かして、地域を盛り上げてみませんか？



地域おこし協力隊とは？

地方自治体が都市部からの移住してきた方を「地域おこし協力隊」として任命し、地域で必要とされるさまざまな活動を行ってもらうことで、地域の活性化を図る取り組みです。任期は最大で3年間、待遇は自治体によって異なります。

市町村の募集状況や特集記事はこちら ▶

詳細はこちら



こんな人におすすめ！

- ・地方で暮らしたい
- ・地域のことを深く知りたい
- ・スキルや経験を地域に役立てたい
- ・人とのつながりを生かす働き方がしたい
- ・情報発信が得意

情報収集・応募

移住する地域の
応募条件をチェック！

公益社団法人ふるさと回帰・移住
交流推進機構の募集ページからも
検索できます！

活動期間

採用後活動地域に移住し、
条件達成に向け活動開始！

- ・地域コミュニティ活動
- ・観光資源の発掘やPR
- ・地域産業の振興 など

任期終了後

任期後も各地域に定住し、活躍
している先輩がたくさんいます！

- ・協力隊の経験を活かした起業
- ・地元企業へ就職
- ・地域おこし活動を継続

先輩協力隊から構成される「秋田県地域おこし協力隊ネットワーク」では、
協力隊同士のつながり作りや相談対応、活動の情報発信など、現役協力隊のサポートを行っています。

今注目を集めています！

関係人口としてつながる

その地域でしかできない体験や、地元の人と関わる学びや挑戦、
地域をフィールドにした夢の実現も！

関係人口とは？

定住はしていないが、地域に継続的に関心や関わりを持ち、
多様な関わりを通じて地域とつながり続ける人々を指します。

秋田とつながりを持ちながら、
秋田で活躍してみませんか？



あきた関係人口会議Webサイト

あきコネ



詳細はこちら



Check!

移住前にできること

考える



移住までにできること

移住の目的を考えましょう。「なぜ移住したいのか」「移住したらどんなことがしたいのか」など目的を明確にすることで、自分らしい移住のカタチが見えてきます。

- ・移住の決め手は？
- ・どんな生活がしてみたい？
- ・移住先で叶えたいことは？

▶ P14へ

秋田県25市町村GUIDE

参加する



イベントに参加してみる

移住に関する各種イベントに参加してみるのもおすすめです。抱えている悩みや移住するにあたっての疑問について気軽に相談できます。

- ・あきた就職フェア
- ・あきた移住・交流フェア
- ・アキタコアベースでのイベント

▶ P49へ

イベントに参加する

情報収集



移住定住登録で 情報を得る

秋田県への移住を希望する方を対象に、さまざまな役立つ情報を配信しています。秋田暮らしの実現に向けて、継続したサポートも受けることができます。

支援情報やお得なサービスを
受け取りましょう

▶ P49へ

秋田県移住定住登録

情報収集



住まい・仕事を探す

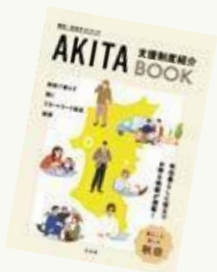
空き家バンクや地元の不動産業者で住まいの情報を集めましょう。
就職先をお探しの場合は、「あきた就職フェア」への参加や、各種就職支援サイトの活用がおすすめです。

【住まい】
空き家バンク情報 ▶



【仕事】 ▶ P43～秋田で働く

情報収集



補助金制度について 調べる

各市町村ごとに、移住や暮らしに関する支援金制度をご用意しています。移住する前にチェックして、ぜひ活用しましょう。

詳細はこちら ▶



▶ “秋田暮らし”ははじめの一步
支援制度を探す

体験する



移住先の雰囲気を 体感する

事前に移住先を訪ねてみて、その土地の気候やまちの雰囲気を感じてみるのもいいかもしれません。
市町村によっては、希望条件に合わせて移住体験ができることもあります。

▶ P14へ

秋田県25市町村GUIDE

移住後の暮らしを想像しながら、今できることを進めましょう！

相談窓口へ行く

秋田での暮らしや交流に関心がある人に向けて、首都圏で移住・就職の相談対応や各種交流イベントなどを開催しています。「秋田で暮らしたい」「秋田とつながりたい」そんな方々が、気軽に立ち寄り集うことのできる窓口です。



秋田で「暮らす」「働く」、秋田と「つながる」首都圏総合窓口



移住・就職のワンストップ相談が可能！

移住相談	就職相談	学生相談
自然環境、風土、教育・子育て環境などの暮らしに関する情報や、各種移住支援制度の紹介はもちろん、一人ひとりのお悩み事に合わせたサポートを市町村や関係団体と連携し、移住希望者のサポートを行います。	経験豊富な就職専門のサポーターが、希望の職種・地域などを伺い、就職活動の進め方や県内企業の求人とのマッチングをサポートするほか、履歴書・職務経歴書の添削や面接の練習・アドバイスも行います。	「あきた学生就活サポートデスク」で県内就職へのアドバイス、具体的な採用情報の提供のほか、エントリーシートの書き方や面接対応のポイントなどの相談もお受けします。保護者の方の相談も承ります。

秋田への移住に関する疑問やお悩みに、対面・電話・メール・オンラインで丁寧にお答えします。

相談予約方法 お電話かメールにてお問い合わせください。

お問い合わせ先 **アキタコアベース**（秋田県あきた暮らし・交流拠点センター） Webサイトはこちら

【代表】 ☎ 03-3528-6567 【相談受付】フリーダイヤル： ☎ 0120-122-255
相談員携帯： ☎ 070-1359-9624

開館時間： 10:00-18:00 Email： coabase@a-iju.jp

休館日：毎週火曜日／5月3日～5日／8月13日～15日／12月29日～1月3日 ※その他臨時休館あり

場所：東京都中央区京橋2丁目6番13号 京橋ヨツギビル1階

アクセス：・JR 東京駅 徒歩7分（八重洲地下街24番出口） ・東京メトロ銀座線 京橋駅 徒歩2分（4番・6番出口）
・都営地下鉄浅草線 宝町駅 徒歩2分（A5・A6・A7出口）

首都圏以外・県内の相談窓口



イベントに参加する

秋田県では、就職や移住に関するイベントを開催しています。東京での開催のほか、お正月やお盆の帰省時期には秋田でも開催！お一人でも、家族連れでもお気軽にお越しください。

秋田とつながるイベント



県内企業が多数集結し、採用担当者と直接話ができる

あきた就職フェア



秋田県内企業への就職に関心がある方（学生含む）を対象に、企業との面談や市町村・団体への相談を受け付けています。

アキタコアベース
最新情報はこちら



秋田が好きな人
秋田に興味がある人も
気軽に参加できます！

アキタコアベースでは、県内市町村と連携した移住相談会、移住者のリアルな話を聞くことができるトークイベント、関係人口の創出を図るイベントなどを開催しています。お気軽にご参加ください！

市町村の移住担当者や先輩移住者に
気軽に相談できる！

あきた移住・交流フェア



移住相談コーナーのほか、秋田暮らしに関するトークイベントや特産品マーケット、稲刈り体験など、コンテンツが充実しています。

イベント情報はポータルサイトで！

秋田県移住定住登録

秋田県に県外から移住を希望する方が対象の登録制度です。ご登録いただくと、各種イベントの情報やサポートを受け取れます！

詳細はこちら



移住でよくある質問

Q1. 秋田県ってどんなところですか？



東北地方の北西部に位置しており、雄大な自然と、おいしいお米や日本酒に代表される豊かな食文化、そして「なまはげ」や「竿燈まつり」「かまくら」といった伝統文化が地域に根付いており、都会にはないゆったりとした時間と人の温かさに触れられる場所です。

Q2. 秋田への移住を漠然と考えているのですが、何から始めたら良いのでしょうか？

移住定住登録（P49）をして頂ければ、相談員からご希望に合った情報をお送りします。
また、県や市町村・関係団体が開催するイベントやお試し移住体験等を活用して情報収集して頂くのも良いかと思います。



Q3. クマに遭遇することはありますか？

滅多にはありませんが、充分にお気を付けてください。「クマダス」という、クマの出没情報などを地図上で確認できるシステムもあります。 クマダス ▶



Q4. 雪はどのくらい降りますか？

地域によって積雪量は違いますが、沿岸部は少なく、内陸の地域は多い傾向があります。スタッドレスタイヤ等の冬のカー用品や除雪器具は必須アイテムです。（P6、7）

Q5. 秋田での就職について教えてください。



求人や企業情報の収集には、窓口（P48）への相談のほか、あきたジョブやあきた就職ナビをご利用いただけます。（P43）
また、各種イベントに参加すると企業の方と直接お話しでき、リアルな企業の情報が手に入ります。

[秋田県エリアマップ]

豊かな自然や食文化、多彩な伝統芸能。
全国6位の面積を誇る秋田県には、
エリアごとに特色のある文化が育まれています。

★…リモートワーク施設



Remotework in Akita

リモートワークで秋田暮らし
詳細はこちら

*地図は略図です

アクセス マップ

空路

秋田には2つの空港があり、
東京・秋田間は、約1時間！

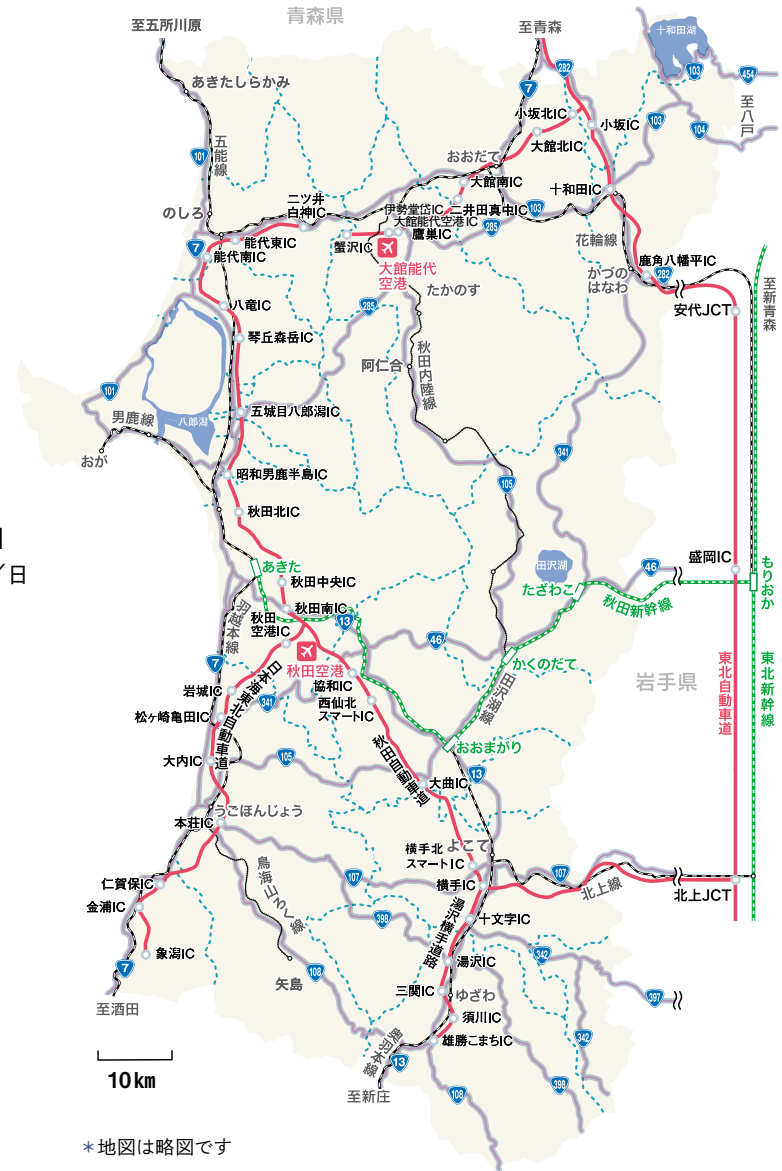
	【秋田空港】	【大館能代空港】
東京行	9便／日	東京行 3便／日
大阪行	6便／日	
名古屋行	2便／日	

鉄道

秋田新幹線「こまち」は、
東京～秋田間を最速3時間37分で
結びます！

道路

高速道路が整備され、
周辺地域への移動が快適！
県内には2つの空港があり、
どの都市からでもアクセスしやすい！



*地図は略図です

県外から			県内から
東京・秋田	飛行機の場合 羽田空港～秋田空港 所要時間／約 1 時間 5 分 羽田空港～大館能代空港 所要時間／約 1 時間 10 分	新幹線の場合 東京駅～秋田駅 (秋田新幹線『こまち』) 所要時間／最速 3 時間 37 分	車の場合 東京都内～秋田中央 IC (東北自動車道・秋田自動車道経由) 所要時間／約 7 時間 30 分
	新幹線の場合 仙台駅～秋田駅 (秋田新幹線『こまち』) 所要時間／最速 2 時間 5 分	車の場合 仙台宮城 IC～秋田中央 IC (東北自動車道・秋田自動車道経由) 所要時間／約 2 時間 58 分	車の場合 秋田中央 IC～横手 IC 所要時間／秋田自動車道で約 50 分 距離／ 63.1 km 秋田中央 IC～大館南 IC 所要時間／秋田自動車道と 国道 7 号線経由で約 1 時間 30 分 距離／ 111 km 秋田中央 IC～本荘 IC 所要時間／秋田自動車道経由 日本海東北自動車道で約 40 分 距離／ 50.3 km
	飛行機の場合 中部国際空港 セントレア ～秋田空港 所要時間／約 1 時間 20 分	新幹線の場合 名古屋駅～東京駅 (東海道新幹線) 東京駅～秋田駅 (秋田新幹線『こまち』) 所要時間／約 6 時間	飛行機の場合 伊丹空港～秋田空港 所要時間／約 1 時間 20 分

*車による所要時間は、走行速度や
道路渋滞によって異なります。



Instagram



X



Facebook



LINE



Web site

